

2026 年度 東海がんプロセミナー プログラム

「がん医療の向上を目指した薬剤師業務とがん研究」

13：30～13：40 開会挨拶

名古屋大学医学部附属病院 池末裕明先生

13：40～13：50 1. がんプロ事業の紹介

名城大学 野田幸裕先生

13：50～14：50 2. シンポジウム① 薬剤師業務：がん治療を支える薬剤師業務

座長 名城大学 伊藤佳織先生・名古屋大学医学部附属病院 池末裕明先生

- ・名古屋大学医学部附属病院薬剤部 片岡智美先生
「がん薬物治療における PBPM の現状と今後の展開」
- ・藤田医科大学病院薬剤部 安藤洋介先生
「薬剤師がつなぐ外来がん治療における新たな多職種連携」
- ・愛知医科大学病院薬剤部 後藤裕美子先生
「進化する薬物療法と薬剤師の役割：適正使用とプロアクティブは患者ケア」
- ・浜松医科大学医学部附属病院薬剤部 佐藤聖先生
「がん治療を支える薬剤師業務：浜松医大病院の取り組み」

15：00～16：00 3. シンポジウム② 研究報告：臨床現場から生まれる研究への展開

座長 名城大学 築山郁人先生・岐阜大学医学部附属病院 藤井宏典先生

- ・名城大学薬学部 岡本誉士典先生
「副作用を知ることから始まる創薬：基礎研究が切り拓く新たな乳がん治療薬開発」
- ・名古屋市立大学病院薬剤部 中村大学先生
「臨床に真摯に向き合う：より良い医療のためのエビデンス創出」
- ・岐阜大学医学部附属病院薬剤部 藤井宏典先生
「臨床現場から研究を生み出す：日常診療の“なぜ？”をエビデンスに変える」
- ・岐阜薬科大学病院薬学研究室 野口義紘先生
「医療ビッグデータが拓く臨床課題の発見とエビデンス創出」

16：00～16：10 閉会挨拶

名城大学 野田幸裕先生

